

新年の部

No.	作句年	部	俳句	季語	分類
4691	明治36年	新年の部	宝引に勝ちて蜜柑をふるまへり	宝引	人事
4692	明治36年	新年の部	孫共の作文帖も祝ひけり	年賀	人事
4693	明治36年	新年の部	ひき初の琵琶の古びも平家哉	弾初	人事
4694	明治36年	新年の部	歌仙より俳人に似てさるまはし	猿廻し	人事
4695	明治36年	新年の部	猿引の子や賢にして容よし	猿廻し	人事
4696	明治36年	新年の部	猿引の猿に薬を飲ませけり	猿廻し	人事
4697	明治36年	新年の部	猿引に興がる韓の公子哉	猿廻し	人事
4698	明治36年	新年の部	歌かるた老將軍のきげん哉	歌留多	人事
4699	明治36年	新年の部	歌かるたも取らで眠りぬ里かへり	歌留多	人事
4700	明治36年	新年の部	歌かるた書斎の二人妬ましき	歌留多	人事
4701	明治36年	新年の部	理不尽に取られて泣きぬ歌かるた	歌留多	人事
4702	明治36年	新年の部	嫁が君美人眠りよりさめぬ	嫁が君	動物
4703	明治36年	新年の部	てうち / あはゝも三ヶ日	三が日	時候
4704	明治36年	新年の部	小松引僧正遍照後れけり	小松引	人事
4705	明治36年	新年の部	大江戸の一夜の雪に出初哉	出初	人事
4706	明治36年	新年の部	鶴の首長しと笑ふ初湯かな	初風呂	人事
4707	明治36年	新年の部	藏開藏の中なる謡かな	藏開	人事
4708	明治36年	新年の部	一族の百人あまり睦月哉	睦月	時候
4709	明治36年	新年の部	名所の松めで居れば傀儡師	傀儡師	人事
4710	明治36年	新年の部	番頭の足袋の驕や松の内	松の内	時候
4711	明治36年	新年の部	初東風に吹かるゝ兒の白さかな	初東風	天文
4712	明治36年	新年の部	山草を神世の艸と覚えけり	齒朶	植物
4713	明治36年	新年の部	水祝馬鹿聳赫と怒りけり	水祝	人事
4714	明治36年	新年の部	藪入のべにうるはしとたゝへけり	藪入	人事
4715	明治36年	新年の部	よき日和一月場所の男ぶり	初場所	人事
4716	明治36年	新年の部	福寿草咲くも待たるゝ老の春	初春	時候
4717	明治36年	新年の部	綱引や若き女の一たまり	綱引	人事
5224	明治37年	新年の部	御詠皆大雅の音や小松引	小松引	人事
5225	明治37年	新年の部	初出式南奉行の威勢かな	出初	人事
5226	明治37年	新年の部	松の内面白き手紙来ることよ	松の内	時候
5227	明治37年	新年の部	常陸帯浄きは神の心かな	常陸帯	人事
5228	明治37年	新年の部	小松引一時の詞人朝にみつ	小松引	人事
5598	明治38年	新年の部	齒朶青し雪中に立つ宮柱	齒朶	植物
5599	明治38年	新年の部	御降や衛士に馴れくる翁丸	御降	天文
5600	明治38年	新年の部	萬歳に塾生どっと笑ひけり	萬歳	人事
5601	明治38年	新年の部	帳綴り女もすなる日記かな	帳綴	人事
5602	明治38年	新年の部	舞始の其舞衣や昔ぶり	舞初	人事
5603	明治38年	新年の部	蓬萊に母子二人の家内かな	蓬萊	人事
5942	明治39年	新年の部	川上の國栖が小家や初かすみ	初霞	天文
5943	明治39年	新年の部	白伏せの宵や楳積む山の如し	白伏せ	人事
5944	明治39年	新年の部	白ふせて去る大家の庭寒し	白伏せ	人事
5945	明治39年	新年の部	ぬさかけて東風に面をさらしけり	初東風	天文
5946	明治39年	新年の部	幣かけて朝日を浴びる尊さよ	初日	天文
5947	明治39年	新年の部	若木折て枯葉を棄つる雪の上	年木	人事
5948	明治39年	新年の部	若木焚く山家の飯の白さかな	年木	人事
5949	明治39年	新年の部	喜び見る若木の枝の燃ゆる事を	年木	人事
5950	明治39年	新年の部	暖に雪踏む柳迎へかな	柳迎え	人事
5951	明治39年	新年の部	よき柳迎へてうれし雪滑	柳迎え	人事

新年の部

No.	作句年	部	俳句	季語	分類
5952	明治39年	新年の部	渋柿をまじなへばナルと申しけり	成木責め	人事
5953	明治39年	新年の部	生身剥二人逢ひけり枯木立	なまはげ(生身剥)	人事
5954	明治39年	新年の部	わが影の雪に映れり生身剥	なまはげ(生身剥)	人事
5955	明治39年	新年の部	鳥追の角東天に響きけり	鳥追い	人事
5956	明治39年	新年の部	ひとり出て門田の鳥を追ひにけり	鳥追い	人事
5957	明治39年	新年の部	老の春去年の挿木に培ひぬ	初春	時候
6401	明治40年	新年の部	餅花の下に木魚を叩きけり	餅花	人事
6402	明治40年	新年の部	御降や汐の八百重の汐けふり	御降	天文
6403	明治40年	新年の部	御降や賤が山田の古案山子	御降	天文
6404	明治40年	新年の部	御降やかか南山に誰が住める	御降	天文
6405	明治40年	新年の部	御降や福藁の尾のしだり尾の	御降	天文
6406	明治40年	新年の部	御降や皆栖に在らん鳥獸	御降	天文
6407	明治40年	新年の部	初刷の雪の小家に到りけり	初刷	人事
6408	明治40年	新年の部	孫子共ふくよかに見る初湯哉	初風呂	人事
6409	明治40年	新年の部	人につらく双六の運つよき哉	双六	人事
6410	明治40年	新年の部	郭外を一周す騎馬初かな	騎馬初	人事
6411	明治40年	新年の部	歌人の歌に糞しぬ嫁が君	嫁が君	動物
6412	明治40年	新年の部	掃きそむる反古は十有七字哉	掃初	人事
6413	明治40年	新年の部	飾臼あたりを拂ふ大ききよ	飾臼	人事
6414	明治40年	新年の部	年玉のかず / \ に灯や枕元	年玉	人事
6415	明治40年	新年の部	猿引の狂歌もすなる紙筆哉	猿廻し	人事
6416	明治40年	新年の部	萬才が飯喰ふ宿や梅の花	萬歳	人事
6417	明治40年	新年の部	帳綴に昔大家の名残かな	帳綴	人事
6418	明治40年	新年の部	まゆ玉の玉の如孫ら子ら居たり	繭玉	人事
6742	明治41年	新年の部	鋤鋤に其處あり雑煮くふ	雑煮	人事
6743	明治41年	新年の部	雑煮くふ頃鶏鳴狗吠かな	雑煮	人事
6744	明治41年	新年の部	雑煮すや御題の松を裏の山	雑煮	人事
6745	明治41年	新年の部	己がもの己がついたる雑煮かな	雑煮	人事
6746	明治41年	新年の部	雑煮くうてしばし端居や草の宿	雑煮	人事
6747	明治41年	新年の部	雑煮してすゞ菜があまる里居哉	雑煮	人事
6748	明治41年	新年の部	長幼の序日上る雑煮かな	雑煮	人事
6749	明治41年	新年の部	雑煮くうてしまへば正に晴るゝ雪	雑煮	人事
6750	明治41年	新年の部	旅なれば雑煮の事も竹枝かな	雑煮	人事
6751	明治41年	新年の部	雑煮くふ静かさもあり歌舞の町	雑煮	人事
6752	明治41年	新年の部	書始は女まじらぬ一間かな	書初	人事
6753	明治41年	新年の部	井開や凍しが上に汲こぼす	若水	人事
6754	明治41年	新年の部	とりしばる綾の袂や吉書始	書初	人事
6755	明治41年	新年の部	若水やその源の神路山	若水	人事
6756	明治41年	新年の部	此家にかゞやくや屠蘇の小杯	屠蘇	人事
6757	明治41年	新年の部	綱引や双峯の神みそなはず	綱引	人事
7028	明治42年	新年の部	初鶏や金に戻りし金の精	初鶏	動物
7029	明治42年	新年の部	元日に恰も届く生海峯哉	元日	時候
7031	明治42年	新年の部	この翁かくてあるぞや嫁が君	嫁が君	動物
7032	明治42年	新年の部	飛車と飛び角行と行く騎初哉	騎馬初	人事
7033	明治42年	新年の部	類句ありと互に擲擲す松の内	松の内	時候
7034	明治42年	新年の部	押鮎の腹平らかに居たりけり	押鮎	人事
7201	明治43年	新年の部	一家風試筆則ち富士の山	書初	人事
7305	明治44年	新年の部	瑞兆に松の雪見る雑煮哉	雑煮	人事

明治36年～明治45年

新年の部

No.	作句年	部	俳句	季語	分類
7408	明治45年	新年の部	若水の源知れや神の國	若水	人事
7409	明治45年	新年の部	太箸もその庭訓の威儀にこそ	太箸	人事
7410	明治45年	新年の部	千金の子と祝ぐ声す双六に	双六	人事